

■ 芸能発表や作品展示、秋の芦別市民芸術祭を開催



第65回芦別市民芸術祭が9月30日と10月1日の2日間、市民会館と青年センターで開催されました。

展示部門では、フラワーアレンジメントや絵画、書道、盆栽、写真など9団体の作品が展示され、みどり幼稚園や小中校生の絵画、書道などの特別展示も行われました。

4年ぶりに文化交流会も開かれ、各団体から約50人が参加しました。

舞台発表では、大正琴サークルや民謡連合会、市民吹奏楽団、合唱団体連絡協議会のコーラス、スターキッズ・ダンスMaxなど、12団体が日ごろの活動の成果を披露し、市民の目を楽しませていました。

■ 星の降る里あしべつ応援大使、トークショーを開催

9月23日、芦別130周年・市制施行70周年記念事業「星の降る里あしべつ応援大使トークショー」を開催しました。

このイベントには、本市出身で、元プロ野球選手の高橋慶彦さんとパーソナリティのようへい（本名・堀川陽平）さんが出演し、市民会館

で行われました。

午前中に、ふるさと納税の返礼品として提供される「慶彦米」と「ようへい米」の稲刈り作業が行われました。

トークショーでは、高橋慶彦さんとようへいさんの野球談義を中心とした軽妙なトークに会場は笑いの渦で盛り上がっていました。



■ 本市ゆかりの絵本作家、やしろまりこさんが講演



芦別130周年・市制施行70周年記念事業「絵本作家やしろまりこよみかせイベント・講演会」が10月7日、図書館で行われました。

やしろまりこさんは、小学1～4年生（昭和57～61年）の4年間を芦別で過ごし、緑ヶ丘小学校（2011年閉校）に在学していました。

午前中は、夫の栗山定さんと小学2年生の長女るりさんの3人で絵本を紙芝居形式で上演（＝写真＝）。

午後は、おはなし会「～芦別っ子の魂、いつまでも～」と題し、緑小の在学4年間に培った、お話作りの原点や、絵本の製作に係る内容などについてお話がありました。

■ 秋晴れの空の下、ウォーキングなどのスポーツイベントを開催

10月9日体育の日、第46回市民ラジオ体操会兼第57回市民あるけあるけ運動と、スポーツ少年団交流会がなまこ山総合運動公園の会場で開催されました。

これは市と市教委の主催で、市民の健康・体力づくりを目的に毎年開催されており、当日は秋晴れの空の

下、ラジオ体操には市内スポーツ少年団など約263人が参加しました。

ラジオ体操後に行われた、5kmと8kmコースのウォーキングとノルディックウォーキングには、市民ら約112人が参加し、暖かい秋の日差しを浴びながら、思い思いの歩きを楽しんでいました。

